

NETIS登録番号	技術名称	固まる簡易舗装材 カタマSP			
QS-130016-A	副題	鉄鋼スラグを用いた散水・転圧で固まる簡易舗装材			
分類1	舗装工	特殊舗装工	特殊舗装工	歩道舗装工	キーワード:コスト削減・生産性の向上、リサイクル
分類2	河川維持	堤防除草工	防草工	その他	
開発目標	経済性の向上、省資源・省エネルギー、リサイクル性向上				
技術の位置付け	<input type="checkbox"/> 推奨技術	<input type="checkbox"/> 準推奨技術	<input type="checkbox"/> 活用促進技術	<input type="checkbox"/> 設計比較対象技術	<input type="checkbox"/> 少実績優良技術
特許	<input checked="" type="checkbox"/> 有り(特許番号:特開2012-52408 簡易舗装材料及び簡易舗装方法)				<input type="checkbox"/> なし
技術賞, 審査証明等	<input type="checkbox"/> ものづくり日本大賞 <input type="checkbox"/> 国土技術開発賞 <input type="checkbox"/> 学会賞 <input type="checkbox"/> 建設技術審査証明				
問合せ先	会社名	新日鐵住金株式会社 大分製鐵所		TEL	097-553-2549
	住所	大分県大分市大字西ノ洲一番地		E-MAIL	kashiwabara.d8a.tsukasa
	担当者	資源技術室 柏原 司			@nssmc.com
実績件数 H26.3.31現在	国土交通省		その他の公共機関		民間等
	14件		154件		1130件

技術概要: (300字以内)

「カタマ®SP」は、鉄鋼スラグ特有の水と反応して自ら固まる性質を活用し、通常のバラス舗装施工を行うだけで、舗装表面から固化が進行していきます。散水と転圧で固まるため、従来の土系舗装に比べ工期短縮、コスト削減、防草効果が期待できます。施工は、舗装材を敷く時に散水と転圧、1週間程度の養生で完了となります。路盤が固化する事で降雨による洗掘や崩壊への抵抗性が高くなり、維持補修などのランニングコストも低減できます。公園の遊歩道や河川護岸天端の管理用道路、幹線道路の中央分離帯など維持補修や草刈りの負担を軽減したい箇所に効果を発揮します。最近では太陽光発電の敷地の防草対策としても数多く使われています。

※新規性

- ・高炉水砕スラグと製鋼スラグを独自の配合により混合し簡易舗装材とした。

※期待される効果

- ・材料費が安価となりコスト削減が期待できる。
- ・独自の配合により固結効果(ボゾラン反応と炭酸化)があり防草対策に有効である。

※適用条件

- ・気温5°C以上での施工
- ・転圧が必要なため、路床が軟弱の場合には地盤改良等が必要

※適用範囲

- ・太陽光発電の敷地防草対策
- ・公園の遊歩道や河川護岸天端の管理用道路(4t以下)などの簡易舗装及び防草対策
- ・河川護岸天端など降雨等で洗掘され維持補修に費用が掛かっていた箇所
- ・草刈りなど維持費を削減したい箇所

※適用できない範囲

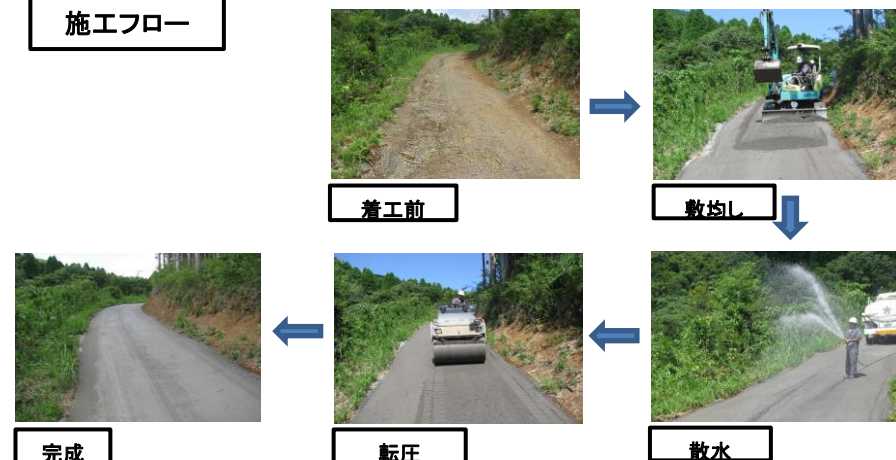
- ・重量車両(4t以上)が通行するような箇所
- ・舗装用の路盤材としての使用

※参考 100m<sup>2</sup>当たり施工単価(大分地区単価) H26.4月現在

施工区分	人力施工(幅3m以下)	機械施工(幅3m以上)
材料費	19,685円	19,685円
施工費	76,429円	16,152円
合計	96,114円	35,837円

※人力施工には小運搬を含む、  
機械施工とは大型重機(MG,MR,TR)での施工  
材料費、施工費については地区により変動有り

施工フロー



※施工上の留意点

- ・本材料は散水・転圧が必須です。散水量は5~8ℓ/m<sup>2</sup>が目安です。
- ・施工完了後7日程度の養生が必要です。

カタマSP 使用事例



自動車専用道路 高架下



太陽光発電敷地



河川 管理用道路